

革新的医療技術研究開発推進事業（産学官共同型）

（科学技術・イノベーション推進事務局 日本医療研究開発機構担当室）

令和4年度補正予算額 80.0億円

参考資料 1

内閣府所管

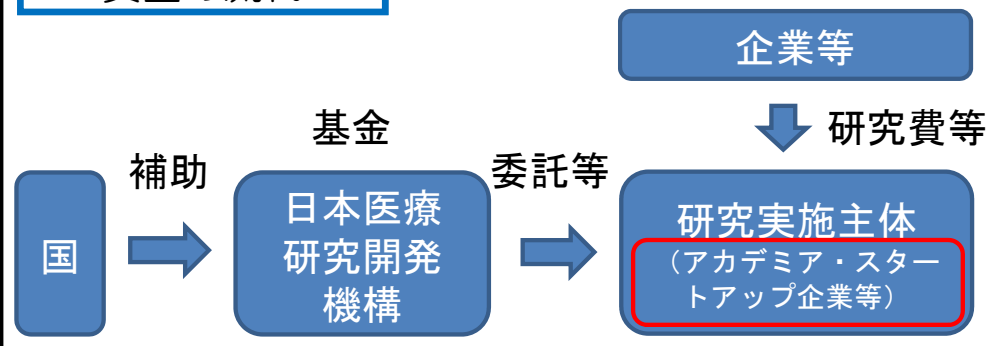
事業概要・目的

- 単独のアカデミアや企業では取り組みにくい研究開発領域について、スタートアップ企業も巻き込みつつ、複数年にわたって幅広く産学官の連携を通じた革新的なアプローチを行うことにより、世界最高水準の医療提供に向けた医薬品、医療機器等の研究開発を行う。
- 国費と企業原資の研究費を組み合わせることにより、産学官共同による医療上の必要性が高く特に緊要となった医薬品・医療機器等の研究開発を推進する。併せて、産学官連携の更なる高度化のため、高い技術と機動力のあるスタートアップ企業の参画を支援する。

事業イメージ・具体例

- 複数アカデミアと複数企業の連携による非競争領域の共同研究を、企業から提供されるリソースとAMEDからの委託費を組み合わせ実施。AMEDの委託費は、研究進捗に応じた柔軟な資金配分（総額の範囲内での年度を超えた増減等）が可能。また、AMEDの伴走支援により産学連携を強力に推進する。
- 社会実装、競争領域を意識しつつ、その前段階の非競争領域を産学官それぞれの力を結集し研究開発を行い、成果の早期社会還元を目指す。
- 医療分野の研究開発におけるスタートアップ企業の役割の重要性に鑑み、産学官共同の研究開発に、高い技術と機動力のあるスタートアップ企業の参画を確保し、更なる連携と実用化につながる成果の発展を目指す。

資金の流れ



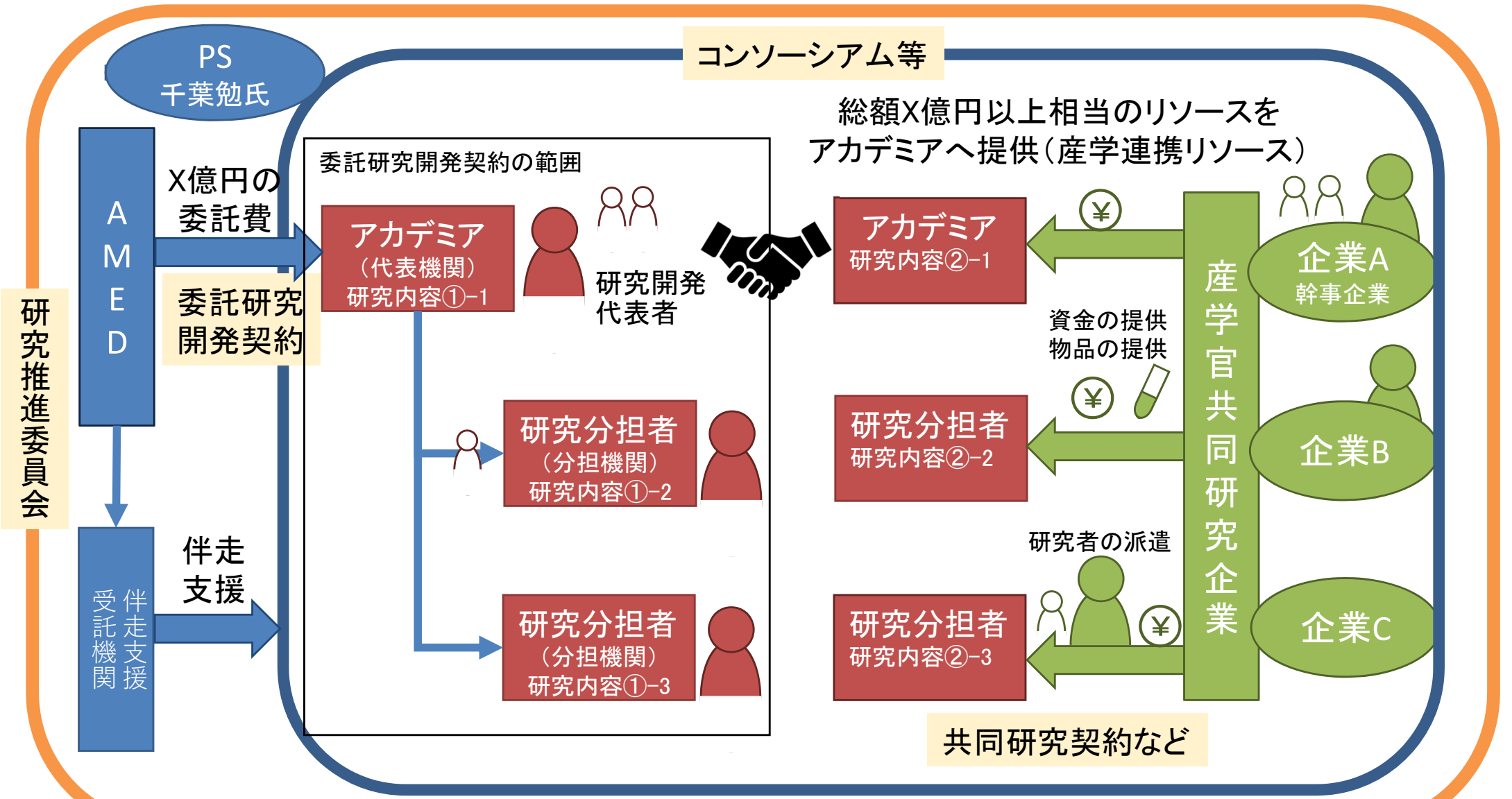
期待される効果

- ニーズに応える医薬品、医療機器等の研究開発が促進され、実用化成功確率の向上につながる。さらに本事業での産学官共同研究が今後の連携のモデルとなり、スタートアップ企業の振興や医療分野の研究開発エコシステムの活性化に繋がることが期待される。

事業スキーム（従来型）

凡例

- 研究開発担当者
- 研究分担者
- 連携研究代表者
- 産学官連携研究企業に所属し、本事業に参加する研究者



令和4年度公募採択課題 (従来型、一次公募)



○令和4年度公募過程

1. 公募期間等審査経緯

提案書受付期間	令和4年 8月26日～ 9月26日
書面審査	令和4年10月 4日～10月31日
ヒアリング審査	令和4年12月 8日

2. 応募件数等

申請数	9件
ヒアリング審査数	4件
採択数	1件

○採択課題

創薬研究を加速する革新的スクリーニングライブラリープラットフォームの産学連携構築
【研究代表者】 宮地弘幸(東京大学特任教授)

今後の予定

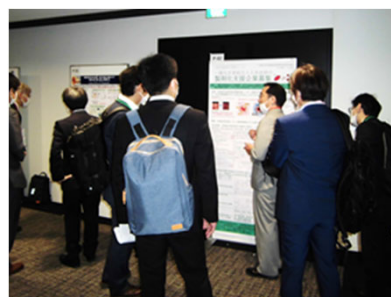
令和4年度補正予算にて、本事業の拡充が認められたことから、今後、本事業の二次公募を本年2月に実施するとともに（公募予告実施済）、スタートアップ支援の内容について検討中

【想定スケジュール】

2月中旬 二次公募開始

3月中 スタートアップ支援に関するWebinar開催

5月頃 スタートアップ支援に関するWS等のイベント開催



【写真】2022年5月に実施したWSの様子（企業・アカデミア対象）